

耐久参加にあたっての注意

全ての車輛においてスリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着ができません。
Formura、Super7、FLクラス車輛、タイヤがむき出しのオープンホイール車輛、
左右のドアが開かない車輛、フロントウィンドウが無い車輛などは参加を認めるこ
とができません。くわしくは事務局へお問い合わせください。

All Japan MINI Championship/共通対象車輛例:

2001年までのMINI 1000ノーマルから1300チューニングまで
G1/G2/G3 クラス
スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可

BMWミニ(モダンミニ/ニューミニ)はEURO各クラス、GT各クラスなどへのエントリーです

All Japan Trad Makes Trophy class-1/共通対象車輛例:

主に70年代以前のヒストリック/ポストヒストリック/ネオヒストリックを対象とした
1400cc以下の車輛、および、その同型車

N/T クラス スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可

例: ホンダS600/800、トヨタS800、ミニ、MGスプリジェット系、
トライアンフ、アルファロメオ1300系、フィアット系(パンダ・ウーノなど)、
アウトビアンキA112、Y10、アバルト系、
ヒルマンインプなどと、特に主催者が認めた車輛を対象

GT - K /共通対象車輛例:

80年代以降の660cc以下の国内外車輛
スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可

660cc以下の軽自動車のクラス。
TradMakesとの混走です。状況により、GT Fighters-1.2/Street-1.2/EUROクラスとの混走になる
場合があります。360cc車輛はTradMakesへの参加も出来ます

例: K-Carなどの車輛(ターボ、スーパーチャージャー装着車も可)

All Japan Trad Makes Trophy class-2/共通対象車輛例:

主に70年代以前のヒストリック/ポストヒストリック/ネオヒストリックを対象とした
1401cc以上の車輛、および、その同型車

N/T クラス スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可

例: アルファロメオ/ザガート系、ランチア系、MG-B、
アルビノスA110、フェアレディSR/SP/30系、510、ロータス系、
フィアット/アバルト系、BMW2002(ターボはT class)、
ボルシェ・ナロー系/356/914、マスタングなどの車輛、特に主催者が認めた車輛を対象

GT Fighters-1/共通対象車輛例:

80年代以降の1993cc以下の国内外車輛
スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可

1993cc以下でナンバー取得を意識しない前提で製作された車輛、および、筑波1分5秒、茂木2分23秒の
どちらかを切った方(ベストタイム)のクラス。
GT Fighters-2/Street-1.2/EUROとの混走です。
ベストタイムと着順により次回よりFighters-2クラスへ移動していただくことがあります。

例: AE86、ロードスター、インテグラ、シビックなどの車輛

All Japan Trad Makes Trophy class-3/共通対象車輛例:

主に70年代以前のヒストリック/ポストヒストリック/ネオヒストリックを対象とした
2990cc以上の車輛、および、その同型車

スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可

例: フェアレディSR/SP/30系、マスタングなどの車輛、特に主催者が認めた車輛を対象

GT Fighters-2/共通対象車輛例:

80年代以降の1994cc以上の国内外車輛
スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可

1993cc以上でナンバー取得を意識しない前提で製作された車輛、および、筑波1分5秒、茂木2分23秒の
どちらかを切った方(ベストタイム)のクラス。GT Fighters-1/Street-1.2/EUROとの混走です。

例: GT-R、NS-X、S2000、RX-7、アルテッツァ、シルビア、
180SX、インプレッサ、ランサー、エリーゼ、
BMW Z3/318/M3、MGF、ランチアデルタなどの車輛、N1車輛など

All Japan Trad Makes Trophy 695/共通対象車輛例:

主に84年以前のヒストリック/ポストヒストリック/ネオヒストリックを対象と
した700cc以下の車輛、および、その同型車

スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可

例: 1984年以前の軽自動車、FIAT500、ABARTH 595/695、シトロエン2cv/アミなどVツインシトロ
エンシリーズ、メッサージュミット、700cc以下の車輛、および、主催者が特に認めた車輛
turbo係数は1.7とします。車輛規定はTMのチューニングクラスと同一

GT Street-1/共通対象車輛例:

80年代以降の1993cc以下の国内外車輛
スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可

1993cc以下の車輛のクラス。車輛規定はGT-Fightersに準じます。
GT Fighters-1.2/Street-2/JETC-1.2との混走です。
ベストタイムで筑波1分5秒、茂木2分23秒のどちらかを切った方はFighters-1への移動が義務になり
ます。

例: AE86、ロードスター、インテグラ、シビックなどの車輛

All Japan Formula Championship/対象車輛例:

フォーミュラクラス Sタイヤ、スリックタイヤが可

例: **F-1 class**
72年以降の車輛。F1、F2、F3、F4、ナショナルフォーミュラ系、フォーミュラ・フォード、
フォーミュラ・ルノー、FJ、フォーミュラトヨタ、スズキ系、CAN-amカー、GCカー、RSなど、
ウィングカー(グランドエフェクトカー)
F-2 class
葉巻型を中心としたヒストリックフォーミュラカー(各カテゴリー71年以前の車輛)、
ウィングカー(グランドエフェクトカー)、を除くナショナルフォーミュラ、90年以前の FJ、
ザウルス、ザウルスJr、KL、ロータス23Bなど

GT Street-2/共通対象車輛例:

80年代以降の1994cc以上の国内外車輛
スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可

1994cc以上の車輛のクラス。車輛規定はGT-Fightersに準じます。
GT Fighters-1.2/Street-1/EUROとの混走です。ターボ計数は1.7倍で計算してください。
ベストタイムで筑波1分5秒、茂木2分23秒のどちらかを切った方はFighters-1への移動が義務になり
ます。

例: GT-R、NS-X、S2000、RX-7、アルテッツァ、シルビア、
180SX、インプレッサ、ランサー、エリーゼ、
BMW Z3/318/M3、MGF、ランチアデルタなどの車輛、N1車輛など

All Japan Super7 Championship/対象車輛例:

スーパー7クラス Sタイヤ、スリックタイヤが可

例: **7-1 class**
BDR以降のコスワース系、ヴェグゾール系、ゼーテック系、ジネットG12
7-2 class
ケントユニットセブン(1700ccまで)、1.4Kシリーズ、ロータスツインカム(1.6L以下)、
ジネットG4

All Japan FL Championship/対象車輛例:

FL Car Sタイヤ、スリックタイヤが可

例: 2006年度FL基準に準じます

耐久参加にあたっての注意

全ての車輛においてスリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着ができません。Formura、Super7、FLクラス車輛、タイヤがむき出しのオープンホイール車輛、左右のドアが開かない車輛、フロントウィンドウが無い車輛などは参加を認めることができません。くわしくは事務局へお問い合わせください。

Porsche 930CUP/共通対象車輛例:

1989年以前の3500cc以下の911系、930系、914系、ナロー系ポルシェ

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可

筑波1分4秒、茂木2分13秒のどちらかを切った方（ベストラップ）は次回よりSuperCUP-2への移動が義務。最終戦でのクラス移動は不可（タイムクリアの場合、最終戦移動は免除）。最終戦で移動する場合はポイントは持ち越せません。上位クラスへの移動によるポイントの持ち越しが80%まで可能。

Porsche 9CUP-1 /共通対象車輛例:

1989年以降の3600cc以下の空冷エンジン形式、996系ポルシェ

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可

筑波1分4秒、茂木2分13秒のどちらかを切った方（ベストラップ）は次回よりPorscheSuperCUP-2への移動が義務。最終戦でのクラス移動は不可（タイムクリアの場合、最終戦移動は免除）。最終戦で移動する場合はポイントは持ち越せません。上位クラスへの移動によるポイントの持ち越しが80%まで可能。

Porsche 9CUP-2/共通対象車輛例:

1989年以降の3600cc以下の空冷エンジン形式、964系、993系、ナロー系、914系、ポルシェ

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可

筑波1分6秒、茂木2分16秒のどちらかを切った方（ベストラップ）は次回より9CUP-1への移動が義務。最終戦でのクラス移動は不可（タイムクリアの場合、最終戦移動は免除）。最終戦で移動する場合はポイントは持ち越せません。上位クラスへの移動によるポイントの持ち越しが80%まで可能。9CUP-Sと混走です。

Porsche Super CUP-1/共通対象車輛例:

基準タイムをクリアしたポルシェ

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可
Sタイヤ最高峰クラス

筑波1分2秒、茂木2分9秒を切った方（ベストラップ）はSuper CUP-SSへの参加が認められます。最終戦でのクラス移動は不可（タイムクリアの場合、最終戦移動は免除）。最終戦で移動する場合はポイントは持ち越せません。上位クラスへの移動によるポイントの持ち越しが80%まで可能。SuperCUP-SSと混走です。

Porsche Super CUP-2/共通対象車輛例:

基準タイムをクリアしたポルシェ

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可

筑波1分3秒、茂木2分10秒を切った方（ベストラップ）はPorsche Super CUP-1への移動が義務。最終戦でのクラス移動は不可（タイムクリアの場合、最終戦移動は免除）。最終戦で移動する場合はポイントは持ち越せません。上位クラスへの移動によるポイントの持ち越しが80%まで可能。SuperCUP-SSと混走です。

EURO4-Gr-A/Gr-B/Gr-C/共通対象車輛例:

85年以降の2000cc以下の外国車のクラス

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可

走行タイムによりクラスを選択

例：シトロエン、プジョー、アルファロメオ、BMWなど、オープンホイール以外の車輛

EURO-6 /共通対象車輛例:

85年以降の2001cc以上の外国車のクラス

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可

走行タイムによりクラスを選択

例：シトロエン、プジョー、フェラーリ、アルファロメオ、BMWなど、オープンホイール以外の車輛

Porsche NR CUP/共通対象車輛例:

ポルシェ全車種

ラジアルタイヤの装着のみ可

筑波1分7秒、茂木2分21秒のどちらかを切った方（ベストラップ）は次回より該当クラスへの移動が義務。最終戦でのクラス移動は不可（タイムクリアの場合、最終戦移動は免除）。最終戦で移動する場合はポイントは持ち越せません。上位クラスへの移動によるポイントの持ち越しが80%まで可能。

Porsche 9CUP-S/共通対象車輛例:

996以降の水冷エンジン形式のポルシェ

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可

筑波1分4秒、茂木2分13秒のどちらかを切った方（ベストラップ）は次回よりPorscheSuperCUP-2への移動が義務。最終戦でのクラス移動は不可（タイムクリアの場合、最終戦移動は免除）。最終戦で移動する場合はポイントは持ち越せません。上位クラスへの移動によるポイントの持ち越しが80%まで可能。9CUPと混走の場合があります。

Porsche Super CUP-SS-T/SS-N/共通対象車輛例:

基準タイムをクリアした車輛、または、国内外の6200cc以下ライバル車輛

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着が可

SS-Tはターボ、または、過給器装着車輛クラス。
SS-Nはノンターボ、または、過給器未装着車輛クラス。
9CUPと混走の場合があります。

耐久参加にあたっての注意

全ての車輛においてスリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着ができません。Formura、Super7、FLクラス車輛、タイヤがむき出しのオープンホイール車輛、左右のドアが開かない車輛、フロントウィンドウが無い車輛などは参加を認めることができません。くわしくは事務局へお問い合わせください。

GO!MINIトロフィ/共通対象車輛例:

1991年～2000年相当のローバー製ミニ

1275CCの排気量に準ずる

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可

ミニユーザーの快感拡大とミニ保守技術の深化によって、ミニ世界と文化の長期的な発展に貢献するために開催

ハチロクトロフィA/A+/B/共通対象車輛例:

AE86、4AGエンジン搭載車のクラス

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可

例：トヨタAE86、4AGタイプのエンジンを搭載した車輛によるクラス

Z Expart Torophy/A/B/C共通対象車輛例:

Z33以降のNISSAN FAIRLADY車のクラス

スリックタイヤ、カットスリックタイヤの装着は不可

例：Z33以降のNISSAN FAIRLADY全車輛

改造範囲の規定や、その他の細かい規定はidlersclubホームページ「Rules」を必ず確認してください。

Rulesには車輛規定以前のお話、つまり「参加資格」に関することが書かれています。

参加していただく前に、必ずこれらを確認してください。参加に関する約束を守れない方については走行をお断りさせていただきます場合があります。

All Japan Trad Makes Trophy class1-N

●排気量：	1400cc以下
●変更/改造：	<p>吸排気系 = 変更可。キャブ個数の増加は不可。インジェクションへの変更は不可</p> <p>足まわり = ノーマルからの型式変更は不可。パーツ・素材の変更可。スパーサー装着は不可</p> <p>エンジン = チューニング不可。ターボなど過給器の後付けは不可。同排気量、同年式のエンジンへの換装可</p> <p>ミッション = 駆動方式の変更は不可</p> <p>ブレーキ = 形状、容量の変更は不可。パーツ・素材の変更可</p> <p>ボディ = 車輻外寸の変更は不可。バルクヘッドの穴開き状態は不可</p> <p>ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る</p> <p>座席数 = 1座以上</p> <p>内装 = 剥離可、ただし、座席素材の変更と内装材の剥離に限る。内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください ロールケージの取り付けを強く推奨</p> <p>ガスタンク = ノーマルで可。容量変更は不可。安全タンクの設置を強く推奨。タンクを変更する場合は安全タンクへのみ可 安全タンクの容量はノーマル容量以下とします</p>
●タイヤ：	<p>スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可</p> <p>メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください</p>
●マフラー：	エキゾーストマニホールド、および、エキゾーストパイプの変更は不可。マフラー変更可

All Japan Trad Makes Trophy class1-T

●排気量：	1400cc以下
●変更/改造：	<p>吸排気系 = 変更可</p> <p>足まわり = ノーマルからの型式変更可。パーツ・素材の変更可。キャンバー・キャスト・車高調などの調整機構の追加可</p> <p>エンジン = チューニング可。ターボなど過給器の後付けは不可。同排気量、同年式のエンジンへの換装可</p> <p>ミッション = 駆動方式の変更可</p> <p>ブレーキ = 形状、容量の変更可</p> <p>ボディ = 車輻外寸の大幅変更は不可（オーバーフェンダーの後付け可）</p> <p>ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る</p> <p>座席数 = 1座以上</p> <p>内装 = 剥離可、ただし、内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください。ロールケージの取り付けを強く推奨</p> <p>ガスタンク = ノーマルで可。容量変更可。安全タンクの設置を強く推奨。タンクを変更する場合は安全タンクへのみ可</p>
●タイヤ：	<p>スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可</p> <p>メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください</p>
●マフラー：	エキゾーストマニホールド、および、エキゾーストパイプの変更可。マフラー変更可

●その他：

- ・前後牽引フックの装着が義務（牽引フックはオリジナル工具の使用可）
- ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨
- ・安全タンクの設置を推奨
- ・消火器の設置を強く推奨
- ・キルスイッチを強く推奨
- ・ロータリー/ターボ車は排気量係数を1.5として計算
- ・一部の車輻の車体側面からの排気を認めず
- ・主に70年代以前のヒストリック、ポストヒストリック、ネオヒストリックを対象とした1400cc以下の車輻、および、その同型車
- マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下、0.5m地点で115db以下
- 賞典：各クラス5位までをトロフィにより表賞します
- Trad Makes1N/Tと、Trad Makes2N/Tは混走ですが別賞典です
- オーバーホールなどにより、1401cc以上、または、異なる大排気量エンジンへ換装した場合は「All Japan Trad Makes Trophy class 2-T」クラス
- ハンデタイムの設定は行いません
- スリックタイヤを装着する場合はSuper CUP-SSでの参加となります
- 移動におけるポイント/前走行のポイントを新クラスに持ち越すことはできません。移動前のリザルトはそのまま残ります

All Japan Trad Makes Trophy class2-N

●排気量：	1401cc以上
●変更/改造：	<p>吸排気系 = キャブ形状/サイズの変更が可。キャブレター個数の増設は不可 キャブレターからインジェクション、および、インジェクションの変更は不可。過給器の変更は不可。過給器の後付けは不可</p> <p>足まわり = パーツ・素材の変更が可。ピロウボウルの追加装着が可</p> <p>エンジン = チューニング不可。ターボなど過給器の後付けは不可。同排気量、同年式のエンジンへの換装が可</p> <p>ミッション = 駆動方式の変更は不可</p> <p>ブレーキ = 形状、容量の変更は不可。パーツ・素材の変更が可</p> <p>ボディ = 車輛外寸の変更は不可。バルクヘッドの穴開き状態は不可</p> <p>ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る</p> <p>座席数 = 1座以上</p> <p>内装 = 剥離可、ただし、座席素材の変更と内装材の剥離に限る。内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください ロールケージの取り付けを強く推奨</p> <p>ガスタンク = ノーマルで可。容量変更は不可。安全タンクの設置を強く推奨。タンクを変更する場合は安全タンクへののみ可 安全タンクの容量はノーマル容量以下とします</p>
●タイヤ：	スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可 メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください
●マフラー：	エキゾーストマニホールド、および、エキゾーストパイプの変更は不可。マフラー変更が可

All Japan Trad Makes Trophy class2-T

●排気量：	1401cc以上
●変更/改造：	<p>吸排気系 = 変更が可 過給器の変更、および、後付けが可</p> <p>足まわり = ノーマルからの型式変更が可。パーツ・素材の変更が可</p> <p>エンジン = チューニングが可。ターボなど過給器の後付けは不可。同排気量、同年式のエンジンへの換装が可</p> <p>ミッション = 駆動方式の変更が可</p> <p>ブレーキ = 形状、容量の変更が可</p> <p>ボディ = 車輛外寸の大幅変更は不可（オーバーフェンダーの後付けが可）</p> <p>ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る</p> <p>座席数 = 1座以上</p> <p>内装 = 剥離可、ただし、内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください。ロールケージの取り付けを強く推奨</p> <p>ガスタンク = ノーマルで可。容量変更が可。安全タンクの設置を強く推奨。タンクを変更する場合は安全タンクへののみ可</p>
●タイヤ：	スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可 メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください
●マフラー：	エキゾーストマニホールド、および、エキゾーストパイプの変更が可。マフラー変更が可

●その他：

- ・前後牽引フックの装着が義務（牽引フックはオリジナル工具の使用が可）
- ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨
- ・安全タンクの設置を推奨
- ・消火器の設置を強く推奨
- ・キルスイッチの設置を強く推奨
- ・ロータリー/ターボ車は排気量係数を1.5として計算
- ・一部の車輛の車体側面からの排気を認めます
- ・主に70年代以前のヒストリック、ポストヒストリック、ネオヒストリックを対象とした1401cc以上の車輛、および、その同型車
- マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下、0.5m地点で115db以下
- 賞典：各クラス5位までをトロフィにより表賞します
- Trad Makes1N/Tと、Trad Makes2N/TとTrad Makes3は混走ですが別賞典です
- オーバーホール、または、異なる大排気量エンジンへ換装した場合は「All Japan Trad Makes Trophy class 2-T/3」クラス
- タイムハンデの設定は行いません
- スリックタイヤを装着する場合はSuper CUP-SSでの参加となります
- 移動におけるポイント/前走行のポイントを新クラスに持ち越すことはできません。移動前のリザルトはそのまま残ります

All Japan Trad Makes Trophy class 3

●排気量：	2990cc以上
●変更/改造：	<p>吸排気系 = 変更が可 過給器の変更、および、後付けが可</p> <p>足まわり = ノーマルからの型式変更が可。パーツ・素材の変更が可</p> <p>エンジン = チューニングが可。ターボなど過給器の後付けは不可。同排気量、同年式のエンジンへの換装が可</p> <p>ミッション = 駆動方式の変更が可</p> <p>ブレーキ = 形状、容量の変更が可</p> <p>ボディ = 車輻外寸の大幅変更は不可（オーバーフェンダーの後付けが可）</p> <p>ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る</p> <p>座席数 = 1座以上</p> <p>内装 = 剥離可、ただし、内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください。ロールケージの取り付けを強く推奨</p> <p>ガスタンク = ノーマルで可。容量変更が可。安全タンクの設置を強く推奨。タンクを変更する場合は安全タンクへのみ可</p>
●タイヤ：	<p>スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可</p> <p>メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください</p>
●マフラー：	エキゾーストマニホールド、および、エキゾーストパイプの変更が可。マフラー変更が可

●その他：

- ・前後牽引フックの装着が義務（牽引フックはオリジナル工具の使用が可）
- ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨
- ・安全タンクの設置を推奨
- ・消火器の設置を強く推奨
- ・キルスイッチの設置を強く推奨
- ・ロータリー/ターボ車は排気量係数を1.5として計算
- ・一部の車輻の車体側面からの排気を認めます
- ・主に70年代以前のヒストリック、ポストヒストリック、ネオヒストリックを対象とした2990cc以上の車輻、および、その同型車
- マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下、0.5m地点で115db以下
- 賞典：各クラス3位までをトロフィにより表賞します
- Trad Makes1N/Tと、Trad Makes2N/TとTrad Makes3は混走ですが別賞典です
- タイムハンデの設定は行いません
- スリックタイヤを装着する場合はSuper CUP-SSでの参加となります
- 移動におけるポイント/前走行のポイントを新クラスに持ち越すことはできません。移動前のリザルトはそのまま残ります

All Japan Trad Makes Trophy 695

●排気量：	700cc以下
●変更/改造：	吸排気系 = 変更が可 足まわり = ノーマルからの型式変更が可。パーツ・素材の変更が可。キャンバー・キャスト・車高調などの調整機構の追加が可 エンジン = チューニングが可。ターボなど過給器の後付けは不可 ミッション = 駆動方式の変更が可 ブレーキ = 形状、容量の変更が可 ボディ = 車輦外寸の大幅変更は不可（オーバーフェンダーの後付けが可） ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る 座席数 = 1座以上 内装 = 剥離可、ただし、内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください。ロールケージの取り付けを強く推奨 ガスタンク = ノーマルで可。容量変更が可。安全タンクの設置を強く推奨。タンクを変更する場合は安全タンクへのみ可
●タイヤ：	スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可 メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください
●マフラー：	エキゾーストマニホールド、および、エキゾーストパイプの変更が可。マフラー変更が可

●その他：

- ・前後牽引フックの装着が義務
- ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨
- ・安全タンクの設置を推奨
- ・消火器の設置を強く推奨
- ・キルスイッチの設置を強く推奨
- ・ロータリー/ターボ車は排気量係数を1.7倍として計算
- ・一部の車輦の車体側面からの排気を認めます
- ・主に70年代以前のヒストリック、ポストヒストリック、ネオヒストリックを対象とした700cc以下の車輦、および、その同型車
- マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下、0.5m地点で115db以下
- 賞典：3位までをトロフィにより表彰します
- Trad Makes-695とTrad Makes1N/T、Trad Makes2N/Tは混走ですが別賞典です
- オーバーホールなどにより、701cc以上、または、異なる大排気量エンジンへ換装した場合は「All Japan Trad Makes Trophy class 1-T」クラス
- ハンデタイムの設定は行いません
- スリックタイヤを装着する場合はSuper CUP-SSでの参加となります
- 移動におけるポイント/前走行のポイントを新クラスに持ち越すことはできません。移動前のリザルトはそのまま残ります

Sprint & Endurance

All Japan MINI Championship

MINI-G1 Class

●対象車輛	オールド MINI、一部の MINI 系の車輛。エンジン型式 99H までのブロックを使用
●排気量	1000cc 以下
●吸気	<ul style="list-style-type: none"> ・キャブレターの変更が可 ・キャブレターの個数変更は不可。ただし、SU ツインキャブレター、デロルト ツインへの変更は可 ・ターボなどの過給器は不可
●排気	<ul style="list-style-type: none"> ・マニホールドの変更が可 ・RC40 タイプなどの消音器の装着を義務付けます ・筑波/マフラー後方の直線地点で、レッドゾーンのマイナス 1000rpm 時で計測。直線 3m 地点で 100 db 以下、2m で 110 db 以下、0.5m で 115 db 以下 ・午後 5 時以降翌朝 8 時までの走行時は別途規定
●点火	・フルトラノ/セミトラへの変更が可。同時点火は不可・プラグ、プラグコードの変更が可
●エンジン	・加工、変更は不可・同系型式の部品の使用が可
●シリンダーヘッド	<ul style="list-style-type: none"> ・変更は不可・ポートの段付き調整が可・ヘッド面研磨は 1mm まで可 ・燃焼室の加工は不可・ヘッドガスケットの変更が可
●ミッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ギア形状、段数、材質などの変更は不可・LSD の装着は不可 ・ファイナルギアによるギヤ比の変更が可・ドロップギアの変更は不可
●冷却	・ラジエターの加工が可・取り付け位置の変更は不可・オイルクーラーの取り付けが可
●足まわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイローキット装着が可・キャンバー/キャスト変更が可 ・スタビライザの装着が可・型式の変更は不可 ・ショックアブソーバーの変更が可・ラバーコーンからコイルスプリングへの変更が可
●ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> ・容量、素材の変更が可・パッド、シュー、ホース、ドラムの変更が可 ・リアブレーキの型式変更は不可・サイドブレーキの取り外しは不可
●ボディ	<ul style="list-style-type: none"> ・内装剥離が可。ただし、剥離後の突起物の処理を行ってください ・全てのウインドウガラスの素材変更は不可・ボディ素材の変更は不可 ・トランク/ボンネットの素材変更が可・車輛外寸の変更は不可。ただし、バンパー取り外し/オーバーフェンダーの変更が可 ・スポイラー、リヤウィングの追加が可・座席数の変更、減少が可 ・ロールケージの設置を推奨。6 点式ロールケージ&サイドバーを強く推奨 ・牽引フックを車輛の前後に必ず装着してください ・エンジンルーム、および、トランクルームとの車内間の隙間は不可
●燃料	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマルタンクの使用を許可。ただし、安全タンクの装着を強く推奨・タンクを変更の場合の最大容量は 45L。変更は安全タンクにのみ可 ・電気式燃料ポンプへの変更が可
●タイヤ	・スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可
●その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールケージ装着時は頭部の保護を行ってください・消火器、キルスイッチの装着を推奨・4 点式以上のシートベルトの使用が義務 ・エアコン、オーディオなどのオプション品の取り外しが可・チューニングヘッド装着車は G2 以上のクラス

●賞典：各クラス 3 位までをトロフィにより表彰します

●MINI -G1/G2/G3 は混走ですが別賞典です

●ハンデタイムの設定は行いません(前走行の着順により設定するもの)

●移動におけるポイント/前走行のポイントを新クラスに持ち越すことはできません。移動前のリザルトはそのまま残ります

Sprint & Endurance

All Japan MINI Championship

MINI-G2 Class

●対象車両	オールド MINI、一部のMINI系の車両。エンジン型式12Aまでのブロックを使用
●排気量	1300cc以下。99系エンジンを使用している車両の排気量は1100ccまで。99系ブロック使用車の各部分はG3と同じ規定
●吸気	<ul style="list-style-type: none"> ・キャブレターの変更が可 ・キャブレターの個数変更は不可。ただし、SUツインキャブレター、デロルトツインへの変更が可 ・スロットルボディの変更は不可・スロットルボディの加工が可
●排気	<ul style="list-style-type: none"> ・マニホールドの変更が可 ・RC40タイプなどの消音器の装着を義務付けます ・筑波/マフラー後方の直線地点で、レッドゾーンのマイナス1000rpm時で計測。直線3m地点で100db以下、2mで110db以下、0.5mで115db以下 ・午後5時以降翌朝8時までの走行時は別途規定
●点火	・変更が可。純正以外の同時点火は不可・ECUの変更、追加は不可（燃料制御のみコンピュータは可）
●エンジン	・加工、変更は不可・同系型式の部品の使用が可
●シリンダーヘッド	<ul style="list-style-type: none"> ・変更は不可・ポートの段付き調整が可・ヘッド面研磨は1mmまで可 ・燃焼室の加工は不可・ヘッドガスケットの変更が可
●ミッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ギア形状、段数、材質などの変更は不可・LSDの装着は不可 ・ファイナルギアによるギヤ比の変更が可・ドロップギアの変更は不可
●冷却	・ラジエターの加工が可・取り付け位置の変更は不可・オイルクーラーの取り付けが可
●足まわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイローキット装着が可・キャンバー/キャスト変更が可 ・スタビライザの装着が可・型式の変更は不可 ・ショックアブソーバーの変更が可・ラバーコーンからコイルスプリングへの変更が可
●ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> ・容量、素材の変更が可・パッド、シュー、ホース、ドラムの変更が可 ・リアブレーキの型式変更は不可・サイドブレーキの取り外しは不可
●ボディ	<ul style="list-style-type: none"> ・内装剥離が可。ただし、剥離後の突起物の処理を行ってください ・全てのウインドウガラスの素材変更は不可・ボディ素材の変更は不可 ・トランク/ボンネットの素材変更が可・車輪外寸の変更は不可。ただし、バンパー取り外し/オーバーフェンダーの変更は可 ・スポイラー、リヤウィングの追加が可・座席数の変更、減少が可 ・ロールケージの設置を推奨。6点式ロールケージ&サイドバーを強く推奨 ・牽引フックを車両の前後に必ず装着してください ・エンジンルーム、および、トランクルームとの車内間の隙間は不可
●燃料	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマルタンクの使用を許可。ただし、安全タンクの装着を強く推奨・タンクを変更の場合の最大容量は45L。変更は安全タンクにのみ可 ・電気式燃料ポンプへの変更が可
●タイヤ	・スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可
●その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールケージ装着時は頭部の保護を行ってください・消火器、キルスイッチの装着を推奨・4点式以上のシートベルトの使用が義務 ・エアコン、オーディオなどのオプション品の取り外しが可 ・チューニングヘッド装着車はG3以上のクラス・ERAターボなどの車両はG3以上のクラス

●賞典：各クラス3位までをトロフィにより表彰します

●MINI -G1/G2/G3は混走ですが別賞典です

●ハンデタイムの設定は行いません(前走行の着順により設定するもの)

●移動におけるポイント/前走行のポイントを新クラスに持ち越すことはできません。移動前のリザルトはそのまま残ります

Sprint & Endurance

All Japan MINI Championship

MINI-G3 Class

●対象車両	オールドMINI、一部のMINI系の車両。下記にあてはまらない車両はTMクラス以上になります
●排気量	1400cc以下
●吸気	<ul style="list-style-type: none"> ・キャブレターの変更が可 ・スロットルボディの変更が可 ・過給器の増設は不可
●排気	<ul style="list-style-type: none"> ・マニホールドの変更が可 ・RC40タイプなどの消音器の装着を義務付けます ・筑波/マフラー後方の直線地点で、レッドゾーンのマイナス1000rpm時で計測。直線3m地点で100db以下、2mで110db以下、0.5mで115db以下 ・午後5時以降翌朝8時までの走行時は別途規定
●点火	・変更が可・ECU制御が可
●エンジン	・オールドMINIのブロックのみ使用可・加工、変更が可・OHVであること
●シリンダーヘッド	<ul style="list-style-type: none"> ・型式の変更は不可 ・加工、変更が可
●ミッション	・ギア形状、段数、材質などの変更が可・LSDの装着が可
●冷却	・ラジエターの加工、変更が可・オイルクーラーの取り付けが可
●足周り	・加工、変更が可・スタビライザーの装着が可
●ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> ・容量、素材の変更が可・パッド、シュー、ホース、ドラムの変更が可 ・リアブレーキの型式変更が可・サイドブレーキの取り外しは不可（ラインロックは可）
●ボディ	<ul style="list-style-type: none"> ・内装剥離が可。ただし、剥離後の突起物の処理を行ってください ・ウインドウガラスの素材変更が可・ボディ素材の変更が可 ・トランク/ボンネットの素材変更が可・車両外寸の変更が可 ・座席数の変更、減少が可 ・6点式ロールオーバーの設置が義務。サイドバーの追加を強く推奨 ・牽引フックを車両の前後に必ず装着してください ・エンジンルーム、および、トランクルームとの車内間の隙間は不可
●燃料	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマルタンクの使用を許可。ただし、安全タンクの装着を強く推奨・タンクを変更の場合の最大容量は45L。変更は安全タンクにのみ可 ・電気式燃料ポンプへの変更が可
●タイヤ	・スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可
●その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールオーバー装着時は頭部の保護を行ってください・消火器、キルスイッチの装着を推奨・4点式以上のシートベルトの使用が義務 ・エアコン、オーディオなどのオプション品の取り外しが可 ・上記にあてはまらない車両はTMクラス以上になります

●賞典：各クラス3位までをトロフィにより表彰します

●MINI -G1/G2/G3は混走ですが別賞典です

●ハンデタイムの設定は行いません(前走行の着順により設定するもの)

●移動におけるポイント/前走行のポイントを新クラスに持ち越すことはできません。移動前のリザルトはそのまま残ります

●1.名称

GO!MINIトロフィ

●2.開催理由

ミニユザーの快感拡大とミニ保守技術の深化によって、ミニ世界と文化の長期的な発展に貢献するために開催

●3.主催

主催：日本アイドラーズクラブ

●4.競技サーキット

筑波サーキット、および1戦程度ツインリンクもてぎを考慮します

袖ヶ浦フォレストレースウェイに関しては、地域住民との話し合いの結果を尊重します

●5.年間開催数

4戦を予定

●6.賞典/ポイント**●6-1. 賞典**

・賞典は、毎戦ごとに3位までをトロフィにより表彰します

●6-2.ポイント

・ポイントは、参加全者に加算されます・シリーズチャンピオンには、楯が贈られます

●7.参加方法**●7-1.エントリー方法**

アイドラーズクラブに申込み、参加費を支払い受理

●7-2.エントリー料

29,500円/1戦(筑波サーキットの場合/保険代込み)

●8.車輛規定他**●8-1.対象車輛**

1991年～2000年相当のローバー製ミニ（国内正規ディーラーにより販売された車輛に準ずる）

●8-2.エンジン

- ・シリンダー、ピストンの加工、変更は不可・純正ボア/ストロークである1275ccの排気量に準ずることが必要です
- ・排気量、圧縮比は生産車純正状態を基本とし、調整面研による圧縮比の向上は認めます。ただし、面研幅は1mmを限度とします
- ・ピストンはSTDサイズを使用。（部品番号の刻印付き純正部品を使用してください）・バルブスプリングの数は8個とします。
- ・クーパーカム、および、ケント256カム同等のリフト量を持つカムの使用が可。ただし、それらのカムの加工は不可
- ・タイミングチェーンは形式の変化、および、ダブルチェーン化は不可
- ・バルブの加工は不可・燃焼室の加工は不可・ガスケットの変更が可
- ・内径40mm以下に限り、ブローバイガス取り出し口の増設が可
- ・エンジンオイルは主催事務局の指定製品の使用を基本とします

●8-3.補器

- ・インテークマニホールド変更は不可。ただし、ポートの研磨は可・各生産年式ごとの点火方式の変更は不可。エキゾーストマニホールドの変更が可
- ・コイル、プラグコードの変更が可・燃料供給装置の変更が可・燃料噴射装置、および、気化器の形式と個数を純正状態からの変更は不可
- ・キャブレター仕様車は、エアクリーナーを装着してください
- ・コンピュータ仕様車は、生産年式ごとのコンピュータ以外の製品への換装は不可。キャブレターボックス装着車輛は、それを取り外す必要はないが使用は不可
- ・音量は、筑波サーキットコース2000の基準に適合することが必要です・消音器の装着を強く推奨
- ・ノーマルタンクが基本。安全タンクの使用を推奨・オイルクーラーの装着が可・オイルキャッチタンクの装着を強く推奨

●8-4.トランスミッション/クラッチ

- ・各生産年式に純正設定されたファイナルギアの中から選択しての使用が可・オイルピックアップパイプの変更が可・LSDの装着は不可
- ・ドロップギアの変更は不可・ギア形状、シフト段数、材質の変更は不可・フライホイールの軽量化、および、軽量化製品の使用は不可

●8-5.サスペンション

- ・ショックアブソーバーの交換が可・ラバーコーンの変更が可
- ・フロントのキャンバー/カスター/トーの変更が可。調整機構の追加が可
- ・リアのキャンバー/トーの変更が可。調整機構を追加が可・ハイローキットの装着が可・スタビライザの装着が可

●8-6.車体

- ・サブフレームマウントの金属製品への交換が可。ただしリジット化は認めます・エンジンの固定方式を問いません

●8-7.タイヤ/ホイール

- ・10インチ、12インチ、13インチのタイヤと相当するホイールを使用・ホイール、および、タイヤはフェンダーからはみ出しは不可
- ・スリックタイヤ、カットスリックタイヤの使用は不可

●8-8.ブレーキ

- ・フロントディスクブレーキ、リアドラムブレーキという形式の変更は不可・ブレーキ容量、ローター/キャリパーの材質変更が可
- ・ブレーキパッドは指定メーカー製品のみ使用が可。当初支給したパッド以外を使用する場合は、指定メーカーを使用してください。ただし、指定製品が無い場合はその限りではありません。
- ・ブレーキホースの変更が可・サイドブレーキを取り外しは不可・倍力装置の取り外しが可

●8-9.内装

- ・内装の剥離が可。ただし、剥離後の突起物や危険部位の処理を徹底してください・6点式以上のロールケージの装着を強く求めます
- ・運転席は、ポケットシートの装着を強く推奨・使用期限内の4点式以上のシートベルトのみ使用が可
- ・エンジンルーム、および、トランクルームとの車内間隙は不可

●8-10.外装

- ・ミニパーツとして市販されているオーバーフェンダーへの変更が可・牽引フックを車輛の前後に必ず装着することが義務
- ・灯火類のレンズは、ミニパーツとして市販されている製品を使用し、ブレーキランプ、ヘッドライト、ウインカーのすべてが機能することが必要です
- ・全てのウインドウガラスの素材変更は不可・ボディ素材の変更は不可。ただし、トランク/ボンネットの素材変更が可
- ・バンパーの取り外しが可・前後スポイラー、および、ウィングの装着は不可・座席数の変更、減少が可

●9.特記事項**●9-1.ゼッケン**

- ・ゼッケンナンバーは、事務局へ申請し、事務局が集計確認後に決定します

●9-2.ボディカラー

- ・2色以上のオリジナルカラーリングを行ってください

●9-4.指定製品

- ・タイヤ 主催事務局が指定したADVANブランド製品のみ使用が基本
- ・エンジンオイル 主催事務局が指定した製品のみ使用が基本
- ・ブレーキパッド 主催事務局が指定したアクレ製品のみ使用が基本

●9-5.指定製品の購入

- ・主催事務局に申し出、購入依頼を行ってください
タイヤ特別料金で提供：165/55R12 A048 Mコンパウンド
価格：9,261円（12,600円×70%）+消費税（1本の価格/送料込み）
- ・購入割引/ブレーキパッドは12,000円（定価16,000円）+消費税+送料/フロントのみ

●10.その他

- ・上記以外の内容変更/改造は不可
- ・上記について不明な点や解釈に不安がある場合は事務局に確認してください
- ・参加車輛を任意で指定し、排気量や使用製品の検査を事務局が指定した検査員が行う場合があります
その際、エンジンヘッドの取り外し、取付けなどは参加者が行ってください
- ・廉価で販売された協賛企業パーツを転売することはできません。転売した場合、製品相当額を事務局にお支払いいただくこととなります
- ・協賛企業パーツが送付された後に、参加ができなくなった場合、製品相当額を事務局にお支払いいただくこととなります
- ・ナンバー付きの車輛の走行が可能。ただし、走行時にナンバーを露出してはなりません

筑波1分5秒、または、茂木2分23秒を切っていない方（ベストタイム）のクラス

GT Street-1（1993cc以下）

80年代以降の1993cc以下の国内外車輛

GT Street-2（1994cc以上）

80年代以降の1994cc以上の国内外車輛

●排気量：	1993cc以下/1994cc以上	
●変更/改造：	吸排気系/足まわり/エンジン/ミッション/クラッチ/ブレーキ/ボディ	規定なし
	ロールケージ	肉厚の鉄素材に限る。ロールケージの装着、および、サイドバーの装着を強く推奨
	座席数	1座以上
	内装	剥離可、ただし、内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください
	制御システム	規定なし
●タイヤ：	スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可 メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください	
●マフラー：	マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下 0.5m地点で115db以下	
●その他：	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー/ターボ車は排気量係数を1.7として計算 ・エンジンルームとボンネットの間、トランクルームとトランクフードの間にはスキマがないようにしてください ・前後牽引フックの装着が義務 ・牽引フックはオリジナル工具の使用が可 ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨 ・安全タンクの設置を推奨 ・消火器の設置を極めて強く推奨 	

筑波1分5秒、茂木2分23秒のどちらかを切った方（ベストタイム）のクラス

GT Fighters-1（1993cc以下）

80年代以降の1993cc以下の国内外車輛

GT Fighters-2（1994cc以上）

80年代以降の1994cc以上の国内外車輛

●排気量：	1993cc以下/1994cc以上	
●変更/改造：	吸排気系/足まわり/エンジン/ミッション/クラッチ/ブレーキ/ボディ	規定なし
	ロールケージ	肉厚の鉄素材に限る。ロールケージの装着、および、サイドバーの装着を強く推奨
	座席数	1座以上
	内装	剥離可、ただし、内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください
	制御システム	規定なし
●タイヤ：	スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可 メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください	
●マフラー：	マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下 0.5m地点で115db以下	
●その他：	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー/ターボ車は排気量係数を1.7として計算 ・エンジンルームとボンネットの間、トランクルームとトランクフードの間にはスキマがないようにしてください ・前後牽引フックの装着が義務 ・牽引フックはオリジナル工具の使用が可 ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨 ・安全タンクの設置を推奨 ・消火器の設置を極めて強く推奨 	

共通項目

- 賞典：各クラス5位までをトロフィにより表賞します
- Street-1とStreet-2、Fighters-1とFighters-2は混走ですが別賞典です（参加回数により混走のクラス分けを変更させていただく場合があります）
- 該当者の前走において、1位に7秒、2位に5秒、3位に3秒のタイムハンデを各々加算します。ステップアップによるクラス移動の場合はタイムハンデは消滅します
※決勝が減算周回数などにより、規定周回数未満の場合、筑波：2周減算につき1秒、茂木：1周減算につき1秒をハンデタイムから削除して計算します
- 移動：予選、決勝を通じて規定タイムをクリアした場合、次回ゲームより移動が義務
GT S1→GT F1 or S2 筑波：1分5秒、茂木：2分23秒のどちらかを切った方
いずれもドライコンディション時、筑波、または、茂木のベストラップを適用。路面温度、外気温は考慮しません
移動後は車輛が変更されない限り、クラスを戻すことができません。また移動についてはベストラップ以外に、着順などを適用する場合があります
- 移動におけるポイント/前走行のポイントを新クラスに80%持ち越すことが可能。移動前のリザルトはそのまま残ります。最終戦においてのクラス移動、変更の場合はポイントの引き継ぎはできません
- タイムや走行スタイルによって、事務局判断によりGT-SからGT-Fへ、または、GT-FからGT-Sへ移動していただく場合もあります
- ナンバー付きストリートカーからナンバー取得を前提としない状態で制作されたチューニングカー、または、N1車輛などが参加できます

GT-K 660cc以下(360cc車輛はTradMakesへのエントリーも可)

●排気量：	基本容量660cc以下の車輛（ターボ、スーパーチャージャー装着車も可）	
●変更/改造：	吸排気系/足まわり/エンジン/ミッション/クラッチ/ブレーキ/ボディ	規定なし
	ロールケージ	肉厚の鉄素材に限る。ロールケージの装着、および、サイドバーの装着を強く推奨
	座席数	1座以上
	内装	剥離可、ただし、内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください
	制御システム	規定なし
●タイヤ：	スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可 メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください	
●マフラー：	マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下 0.5m地点で115db以下	
●その他：	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンルームとボンネットの間、トランクルームとトランクフードの間にはスキマがないようにしてください ・前後牽引フックの装着が義務 ・牽引フックはオリジナル工具の使用が可 ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨 ・安全タンクの設置を推奨 ・消火器の設置を極めて強く推奨 	

●賞典：3位までをトロフィにより表彰します

●TradMakes1-S&T、TradMakes2-S&T、TradMakes695、および、GT-Kは混走ですが別賞典です
(参加台数により混走のクラス分けを変更させていただく場合があります)

●タイムハンデは設定しません

●ステップアップによるポイントの持ち越しはできません

●スリックタイヤを装着する場合はSuper CUP-SSでの参加となります

●名称：EURO 4/6

●目的

クラブマンによる、クラブマンのための“DTM”を開催し、新しい輸入車のゲームフィールド

●クラス

・1980年以降の欧米の5気筒車以上を対象としたクラスを設定し、EURO 4 Gr.-A/B/C、EURO 6：クラスを設けます

●賞典

・各クラス混走。ただし、別賞典とし、各クラス1位をトロフィーにより表彰します

●EURO 4 Gr.-A

・1980年代以降の市販時4座席以上の欧州車・エンジンユニットは、4気筒を対象

・筑波サーキットコース2000の最速ラップタイムが、1分7秒以下を対象としたクラス

●EURO 4 Gr.-B

・1980年代以降の市販時4座席以上4座席の欧州車・エンジンユニットは、4気筒を対象

・筑波サーキットコース2000の最速ラップタイムが、1分7秒1以上1分12秒以内を対象としたクラス

●EURO 4 Gr.-C

・1980年代以降の市販時4座席以上4座席の欧州車・エンジンユニットは、4気筒を対象

・筑波サーキットコース2000の最速ラップタイムが、1分12秒1以上を対象としたクラス

●EURO 6

・1980年代以降の欧州車。市販時の座席数を問いません

・エンジンユニットは、排気量、および、気筒数を問いません・過給器を装着した全ての車輛

●各クラス共通項目

●エンジン

・オリジナルユニット以外への換装が可。ただし、同メーカー、同車種系列の4気筒・自然吸気型エンジンのみ、ボア/ストロークの変更が可

・自然吸気型エンジンのみ、ヘッドの変更、および、ヘッドの加工が可・自然吸気型エンジンのみ、バルブ開閉タイミングの変更が可

・自然吸気型エンジンのみ、バルブ、バルブガイド、リングの素材変更が可・自然吸気型エンジンのみ、点火タイミングの変更が可

・タイミングベルトの形式、および、素材変更が可・自然吸気型エンジンへのあらゆる過給器の後付けは不可

●吸排気システム

・エキゾーストの形状、および、素材の変更が可・吸気システムの変更が可・制御システムの変更が可

●オイルキャッチタンク

・内容量1リットル以上のオイルキャッチタンクの装着を強く推奨。その際、内容量を確認できるものが望ましい

●キルスイッチ

・装着を推奨

・取り付けを行う場合の位置は、車輛全部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内。車内に設置する際は、運転者が操作可能であることが必要です

●排気音量

・筑波サーキットコース2000の基準に適合することが必要です

●トランスミッション

・ミッションの作動方式の変更が可・シフト段数の変更が可・ギア比の変更が可

●デファレンシャル

・リミテスリップデファレンシャルの装着が可・ファイナルギア比は規制しません・ピニオン数の変更が可・トラクションブラケットの装着が可

●バッテリー

・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで完全に隔離することが必要です

●燃料タンク

・純正タンク、または、FIA基準の安全燃料タンクへの変更が可・純正タンク使用の場合は、いかなる加工も不可

・安全燃料タンクへの変更の場合、装着位置を規制しません。ただし、確実に隔壁遮断することが必要です

●ボディ

・ボディサイズ/左右合計10cmまで変更が可

●ボディの変更

・基本的に運転席、助手席、天井、床の内装材の剥離が可・ボンネット、トランクフード、フェンダー、ルーフ、ドアの素材変更が可

・上記素材を変更した場合、変形、脱落がないように装着・上記において、ドア、トランクフード、および、ルーフの形状変更は不可

・ボンネットの開口は不可。また、ボディとの間の隙間は不可・バンパー素材の変更が可。ただし、形状の変更は不可

・フェンダーの拡大を伴う場合、バンパーとの接触部のみ形状変更が可・前後バルクヘッドの剥奪は不可・アンダーカバーの装着、および、そのフラット化が可

・アンダーカバー、および、フロントスポイラーの前方への張り出しは、5cm以内で可・リア方向のボディサイズは、ノーマルサイズより張り出すのは不可

・内張りの剥離が可・車体前後に牽引フックの装着が義務。その際、オリジナル工具の使用が可

・フロントウインドウを除くウインドウのアクリル化が可

●空力付加物

・ボンネットへの空力付加物の装着が可。ただし、その装着高は5cm以内とします

・トランクへの空力付加物の装着が可。ただし、ルーフ、および、バンパー左右面より拡大することは不可

・フロントスポイラー、および、サイドスカートが可。ただし、最低地上高は4cm以上

・フロントスポイラーにカナードなどの空力付加物の装着が可。ただし、バンパー左右面、および、フロントスポイラーより拡大することは不可

・リアディフューザーの装着が可。ただし、耐熱処理が必要。また、リアバンパーより突起せず、最低地上高は4cm以上が必要で

●座席数

- ・一座が可

●ロールケージ

- ・6点式以上のロールケージ装着を強く推奨。サイドバーの装着を強く推奨
- ・ドア素材をオリジナルの鋼板から軽量化素材、または、低強度素材に変更した場合、サイドバーの装着が義務
- ・アルミ製のロールケージ、および、サイドバーは不可
- ・ロールケージを新作する場合の構造材は、外径40mm／肉厚2.0mm以上のサイズで冷間引き抜きの継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください
- ・クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA規定の外径40mm／肉厚2.0mmを推奨するが、ラリーアート規定の外径38.1mm、肉厚2.16mm鋼材の使用が可

●ロールケージを新作する場合の装着と検査

- ・厚さ3mm以上、面積120cm²の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材／サイズによる鋼材とで、ボディ床部を上下から挟み込むように設置してください
- ・設置のボルトは、8mm以上の4Tボルトとし、4本以上のボルトによって固定・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着してください
- ・前後バルクヘッドの貫通が可。その場合、貫通口の隙間は不可・鋼材の検査のために、直径5mmの穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲んでください

●サイドバー

- ・鋼材は、ロールケージと同様の鋼材を使用。アルミ素材は不可
- ・サイズは、メインケージが外径40mm／肉厚2.0mm以上の場合、外径38mm／肉厚2.5mm以上

●サスペンション

- ・サスペンション形式と構造材・形式の変更が可・構造材の変更が可・伸縮レート比は規制しません

●スタビライザー

- ・設置が可。方式、および、形状を規制しません。最低地上高は、フロントスポイラーと同様

●タワーバー

- ・装着が可。形状、および、素材の規制はしません

●灯火類

- ・ストップランプ、テールモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要です

●タイヤ

- ・タイヤメーカー、および、タイヤ径、および、トレッドを規制しません
- ・市販Sタイヤ／ラジアルタイヤの装着のみ可。ただしクムホ製縦溝1本のSタイヤの使用は禁止

●シートベルト

- ・4点式以上のシートベルトをFIAの規定に則って設置してください・FIA公認（8856-2000規格）とします・有効期限は、製造年より5年とします

●ヘルメット

- ・FIA公認（8856-2000規格）のフルフェイス型、および、ジェット型・有効期限は、製造年より5年とします

●服装

- ・FIA公認（8856-2000規格）のレーシングスーツ、グローブ、シューズ、ソックスのみ着用可・各有効期限は、製造年より5年
- ・シングルレイヤーのレーシングスーツは不可

●消火器

- ・1kg以上の容量を持つ消火器の設置を強く推奨。3kg以上の容量を推奨します
- ・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消火できる、または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることが必要です
- ・その取付けは、横転時においても離脱しないことが必要です

●ゼッケン

- ・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、または、一辺40cm以上の四角形の白地に、黒色の太文字を用い、算数字の数字で表記してください
- ・ゼッケン数字の書体は規制しません。が、管制塔より可読性があることが必要です

●名称：ハチロク・トロフィ**●クラス**

- ・ Gr-Aクラス、Gr-Aplusクラス、Gr-Bクラスを設定
- ・ Gr-Aクラス、Gr-A+クラスは市販Sタイヤの使用を可能とし、その他のルールは下記項目を参照
- ・ Gr-Bクラスは市販ラジアルタイヤのみの使用とし、その他のルールは下記項目を参照

●賞典

- ・ 各クラス混走。ただし、別賞典とし、各クラス3位までトロフィーにて表彰します

●Gr-Aクラス**●エンジン**

- ・ エンジンユニットは、4AG-4バルブ/5バルブユニット、および、4AG-Zユニットを対象
- ・ 4AG以外へのエンジンユニットの換装は可。ただし、ロータリーへの換装は不可・4AGユニットの自然吸気型エンジンのみボア/ストロークの変更が可
- ・ 4AGユニットのみヘッドの変更。および、ヘッドの加工が可・4AGユニットのみ、バルブ開閉タイミングの変更が可
- ・ 4AGユニットのみ、バルブ、バルブガイド、リングの素材変更が可・4AGユニットのみ、点火タイミングの変更が可
- ・ タイミングベルトの形式、および、素材変更が可
- ・ 4AG-Zを含む 4AGユニットのみあらゆる過給器の後付けが可。ただし、過給器付き車輛のボア/ストロークの変更は不可

●トランスミッション

- ・ ミッションの作動方式の変更が可・シフト段数の変更が可・ギア比の変更が可

●デファレンシャル

- ・ リミテッドスリップデファレンシャルの装着が可・ファイナルギア比は規制しません・ピニオン数の変更が可・トラクションブラケットの装着が可

●ボディ

- ・ ボディ幅を左右合計20cmまで変更が可・ボンネット、トランクフード、フェンダー、ルーフ、ドアの素材変更が可
- ・ 上記素材を変更した場合、変形、脱落がないように装着してください・ドア、トランクフード、および、ルーフの形状変更は不可
- ・ ボンネットへの空力付加物の装着が可。ただし、その装着高は5cm以内とします
- ・ ボンネットの開口が可。ただし、開口部は、横60cm、縦18cm以内とし、開口部前部がボンネット前端より30cm以内とします
その際、ボンネット上部よりエンジンルームが見えないように処理が必要。その処理において、装着高は5cm以内とし、空力付加物と共通化は不可
- ・ ボンネットは、開口部以外、ボディとの間の隙間は不可・トランクへの空力付加物の装着が可。ただし、ルーフ、および、バンパー左右面より拡大することは不可
- ・ フロントスポイラー、および、サイドスカートは装着が可。ただし、最低地上高が2cm以上必要
- ・ フロントスポイラーに空力付加物の装着が可
- ・ リアディフューザーの装着が可。ただし、発火に細心の注意を行ってください。また、リアバンパーより突起せず、最低地上高が3cm以上必要
- ・ バンパー素材の変更が可。ただし、形状の変更は不可。ただし、フェンダーの拡大を伴う場合、フェンダーとの接触部のみ形状変更が可
- ・ 前後バルクヘッドの剥奪は不可・アンダーカバーの装着、および、そのフラット化が可
- ・ アンダーカバー、および、フロントスポイラーの前方への張り出しは、5cm以内で可・リア方向のボディサイズは、ノーマルサイズより張り出すのは不可

●ロールケージ

- ・ 6点式以上のロールケージ装着が義務。サイドバーの装着を強く推奨
- ・ ドア素材をオリジナルの鋼板から軽量化素材、または、低強度素材に変更した場合、サイドバーの装着が義務
- ・ ロールケージの構造材は、外径40mm/肉厚2.0mm以上とし、冷間引き抜きの継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください
- ・ クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA規定の外径40mm/肉厚2.0mmを推奨、ラリーアート規定の外径38.1mm、肉厚2.16mm鋼材の使用が可

●ロールケージの装着と検査

- ・ 厚さ3mm以上、面積120cm²の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材/サイズで、ボディ床部を上下から挟み込むように設置してください
- ・ 設置のボルトは、8mm以上の4Tボルトとし、4本以上のボルトによって固定してください・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着
- ・ 前後バルクヘッドの貫通が可。その場合、貫通口の隙間は不可・鋼材の検査のために、直径5mmの穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲ってください

●サイドバー

- ・ 鋼材は、ロールケージと同様の鋼材を使用。アルミ素材は不可・サイズは、外径38mm/肉厚2.5mm以上必要

●サスペンション

- ・ サスペンション形式の変更が可・構造材の変更が可・伸縮レート比は規制しません
- ・ スタビライザーの設置が可。その場合、方式、および、形状を規制しません。ただし、最低地上高は、フロントスポイラーと同様とします
- ・ タワーバーの装着が可。形状、および、素材の規制はしません

●灯火類

- ・ ストップランプ、テールモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要です

●タイヤ

- ・ タイヤメーカー、および、タイヤ径、および、トレッドを規制しません・市販Sタイヤの装着のみ可。ただし、クムホ製縦溝1本のSタイヤの使用を禁止します

●シートベルト

- ・ 4点式以上のシートベルトをFIAの規定に則って設置してください・FIA公認（8856-2000規格）とします・有効期限は、製造年より5年

●ヘルメット

- ・ FIA公認（8856-2000規格）の自動車用フルフェイス型、および、自動車用ジェット型のみ着用が可・有効期限は、製造年より5年

●服装

- ・FIA公認（8856-2000規格）のレーシングスーツ、グローブ、シューズ、ソックスのみ着用が可・各有効期限は、製造年より5年
- ・シングルレイヤーのレーシングスーツは不可

●バッテリー

- ・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全に隔離してください

●燃料タンク

- ・AE86 純正タンク、または、安全燃料タンクへの変更が可・純正タンク使用の場合は、いかなる加工も不可
- ・安全燃料タンクへの変更の場合、装着位置を規制しません。ただし、確実に隔壁遮断してください

●排気システム

- ・エキゾースト、および、マフラーの形状、および、素材の変更が可

●吸気システム

- ・吸気システムの変更が可・制御システムの変更が可

●排気音量

- ・筑波サーキットコース2000の基準に適合することが必要です

●消火器

- ・1kg以上の容量を持つ消火器の設置が義務。3kg以上の容量を強く推奨
- ・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消火できることが必要です。または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることが必要です・その取付けは、横転時においても離脱しないことが必要です

●その他

- ・内張りの剥離が可・座席数は一座が可
- ・内容量1リットル以上のオイルキャッチタンクの装着が義務。その際、内容量を確認できるものが望ましい
- ・キルスイッチの装着を強く推奨。その取り付け位置は、車輛全部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内とします。車内に設置する際は、運転者が操作可能であることが必要です・車体前後に牽引フックの装着が義務。その際、オリジナル工具の使用が可
- ・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、または、一辺40cm以上の四角形の白地に、黒色の太文字を用い、算数字の数字で表記してください
ゼッケン数字の書体は規制しません。ただし、管制塔より可読性があることが必要です・フロントウインドウを除くウインドウのアクリル化が可
- ・ロールケージ、シートベルト、レーシングスーツ、グローブ、シューズは、現状を過渡的な状態とし、近い将来に規定に則った変更を行うことを前提に、昨年まで使用していたものを可とします。ただし、新たに製作や購入を行う場合は、規定通りとします

●Gr-Aplusクラス**●エンジン**

- ・エンジンユニットは、4AGのみを対象とし、4AG-4バルブ/5バルブユニットを対象・4AG以外へのエンジンユニットの換装は不可
- ・ボアの変更が可・ストロークの変更は不可・ヘッドの変更、および、ヘッドの加工が可・クランクシャフトはトヨタ純正4AG用とし、年式、車種を問いません
- ・バルブ、バルブガイド、リングの素材変更が可
- ・点火タイミングの変更が可。4バルブの場合、288°/9mmリフトまでの使用が可。5バルブの場合、272°/9.2mmリフトまでの使用が可
- ・タイミングベルトの形式、および、素材変更が可・あらゆる過給器の後付けは不可

●トランスミッション

- ・AE86用を使用

●デファレンシャル

- ・リミテッドスリップデファレンシャルの装着が可・ファイナルギア比は規制しません・ピニオン数の変更が可・トラクションブラケットの装着が可

●ボディ

- ・ボディ幅の変更が可。ただし、左右合計2cm以内としてください
- ・ボンネット、トランクフード、フェンダー、ルーフの素材変更が可。素材を変更した場合、変形、脱落がないように装着してください
- ・上記において、トランクフード、および、ルーフの形状変更は不可・ドアは左右ノーマルのみ可
- ・ボンネットへの空力付加物の装着、および、開口は不可・ボンネットとボディの間の隙間は不可
- ・フロントスポイラーを除き、ウイング、カナード、ディフューザーの装着は不可。ただし、フロントスポイラーは最低地上高が2cm以上必要
- ・バンパー素材の変更は不可。ただし、形状の変更は不可。ただし、フェンダーの拡大を伴う場合、フェンダーとの接触部のみ形状変更が可
- ・前後バルクヘッドの剥奪は不可・アンダーカバーの装着、および、そのフラット化が可。ただし、フロントバンパー部分のみとします
- ・リア方向のボディサイズは、ノーマルサイズより張り出すのは不可

●ロールケージ

- ・6点式以上のロールケージ装着が義務。サイドバーの装着を強く推奨
- ・ロールケージの構造材は、外径40mm/肉厚2.0mm以上とし、冷間引き抜きの継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください
- ・クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA規定の外径40mm/肉厚2.0mmを推奨するが、ラリーアート規定の外径38.1mm、肉厚21.6mm鋼材の使用が可

●ロールケージの装着と検査

- ・厚さ3mm以上、面積120cm²の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材/サイズで、ボディ床部を上下から挟み込むように設置してください
- ・設置のボルトは、8mm以上の4Tボルトとし、4本以上のボルトによって固定してください・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着してください
- ・前後バルクヘッドの貫通が可。その場合、貫通口の隙間は不可・鋼材の検査のために、直径5mmの穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲ってください

●サイドバー

・鋼材は、ロールケージと同様の鋼材を使用してください。アルミ素材は不可・サイズは、外径38mm／肉厚2.5mm以上とします

●サスペンション

・サスペンション形式の変更が可。ただし、ロアアームの全長は純正サイズであることが必要です・構造材の変更が可・伸縮レート比は規制しません
・スタビライザーの設置が可。その場合、方式、および、形状を規制しません。ただし、最低地上高は、フロントスポイラーと同様とします
・タワーバーの装着が可。形状、および、素材の規制はしません

●灯火類

・ストップランプ、テールモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要です・バルブを除きノーマルであることが必要です

●タイヤ

・タイヤメーカーを規制しません。ただし、ホム製縦溝1本のSタイヤの使用を禁止します・市販Sタイヤの装着が可
・幅195サイズ以下とし、外径は規制しません・ホイールの幅を7.5J以下とし、オフセット0までの使用が可

●シートベルト

・4点式以上のシートベルトをFIAの規定に則って設置してください・FIA公認（8856-2000規格）とします・有効期限は、製造年より5年

●ヘルメット

・FIA公認（8856-2000規格）の自動車用フルフェイス型、および、自動車用ジェット型のみ着用が可・有効期限は、製造年より5年

●服装

・FIA公認（8856-2000規格）のレーシングスーツ、グローブ、シューズ、ソックスのみ着用が可・各有効期限は、製造年より5年
・シングルレイヤーのレーシングスーツは不可

●バッテリー

・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全に隔離してください

●燃料タンク

・AE86 純正タンク、または、FIA規定による安全燃料タンクへの変更が可・純正タンク使用の場合は、いかなる加工も不可
・安全燃料タンクへの変更の場合、装着位置を規制しません。ただし、確実に隔壁遮断してください

●排気システム

・エキゾースト、および、マフラーの形状、および、素材の変更が可

●吸気システム

・吸気システムの変更が可・制御システムの変更が可

●排気音量

・筑波サーキットコース2000の基準に適合することが必要です

●消火器

・1kg以上の容量を持つ消火器の設置が義務。3kg以上の容量を強く推奨
・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消火できること。または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることが必要です
・その取付けは、横転時においても離脱しないようにしてください

●その他

・内張りの剥離が可。・座席数は一座が可
・内容量1リットル以上のオイルキャッチタンクの装着が義務。その際、内容量を確認できるものが望ましい
・キルスイッチの装着が義務。その取り付け位置は、車輛全部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内。車内に設置する際は、運転者が操作可能であることが必要です
・前後に牽引フックの装着が義務。その際、オリジナル工具の使用が可
・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、または、一辺40cm以上の四角形の白地に、黒色の太文字を用い、算数字の数字で表記してください
ゼッケン数字の書体は規制しません。ただし、管制塔より可読性があることが必要です
・フロントウインドウを除くウインドウのアクリル化が可
・ロールケージ、シートベルト、レーシングスーツ、グローブ、シューズは、現状を過渡的な状態とし、近い将来に規定に則った変更を行うことを前提に、昨年まで使用していたものを可とします。ただし、新たに製作や購入を行な場合は、規定通りとします

●Gr-Bクラス**●エンジン**

- ・エンジンユニットは、4AG-4バルブ/5バルブユニットを対象とします・エンジンユニットは、4AG以外への換装は不可
- ・4AG-Zは不可・ボア/ストロークの変更が可・バルブ数の変更、または、ヘッドの変更が可。ただし、ヘッドの加工は不可
- ・バルブ開閉タイミングの変更が可・点火タイミングの変更が可・バルブ、バルブガイド、リングの素材変更は不可・あらゆる過給器の後付けが不可
- ・タイミングベルトの形式、および、素材変更は不可

●トランスミッション

- ・ミッションの作動方式の変更は不可・シフト段数の変更は不可・ギア比の変更が可

●デファレンシャル

- ・リミテスリップデファレンシャルの装着が可・ファイナルギア比は規制しません・ピニオン数の変更が可
- ・トラクションブラケットの装着が不可

●ボディ

- ・ボディ幅の変更が可。ただし、左右合計2cm以内・ボンネット、トランクフード、フェンダー、ドアの素材変更が可・ルーフの素材変更は不可
- ・上記素材を変更した場合、変形、脱落がないように装着してください・トランクフード、および、ドアの形状変更は不可
- ・ボンネットへの空力付加物の装着は不可・ボンネットの開口は不可。ボディとの間の隙間は不可
- ・トランクへの空力付加物の装着が可。ただし、ルーフおよび、バンパー左右面より拡大することは不可
- ・フロントスポイラーの装着が可・サイドスカートは不可。ただし、最低地上高が5cm以上であることが必要です
- ・フロントスポイラーに空力付加物の装着が可・リアディフューザーの装着は不可・バンパー素材の変更が可。ただし、形状の変更は不可
- ・前後バルクヘッドの剥奪は不可・アンダーカバーの装着、および、そのフラット化が可
- ・アンダーカバー、および、フロントスポイラーの前方への張り出しは、5cm以内で可・リア方向のボディサイズは、ノーマルサイズより張り出すのは不可

●ロールケージ

- ・4点式以上のロールケージ装着を極めて強く推奨。6点式ロールケージ、および、サイドバーの装着が望ましい
- ・ドア素材をオリジナルの鋼板から軽量化素材、または、低強度素材に変更した場合、サイドバーの装着が義務
- ・ロールケージの構造材は、外径40mm/肉厚2.0mm以上とし、冷間引き抜きの継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください
- ・クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA規定の外径40mm/肉厚2.0mmを推奨、ラリーアート規定の外径38.1mm、肉厚2.16mm鋼材の使用が可

●ロールケージの装着と検査

- ・厚さ3mm以上、面積120cm²の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材/サイズで、ボディ床部を上下から挟み込むように設置してください
- ・設置のボルトは、8mm以上の4Tボルトとし、4本以上のボルトによって固定してください・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着してください
- ・前後バルクヘッドの貫通が可。その場合、貫通口の隙間は不可・鋼材の検査のために、直径5mmの穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲ってください

●サイドバー

- ・鋼材は、ロールケージと同様の鋼材を使用してください。アルミ素材は不可・サイズは、外径38mm/肉厚2.5mm以上とします

●サスペンション

- ・サスペンション形式の変更は不可・構造材の変更は不可。ただし、車高調整式アブソーバーへの換装は可
- ・伸縮レート比は規制しません
- ・スタビライザーの設置が可。その場合、方式、および、形状を規制しません。ただし、最低地上高は、フロントスポイラーと同様とします
- ・タワーバーの装着が可。形状、および、素材の規制はしません

●灯火類

- ・ストップランプ、テールモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要です

●タイヤ

- ・タイヤメーカーを規制しません・市販ラジアルタイヤの装着のみ可・タイヤ径、および、トレッドのワンサイズ拡大が可

●シートベルト

- ・4点式以上のシートベルトをFIAの規定に則って設置してください・FIA公認（8856-2000規格）とします・有効期限は、製造年より5年
- ・タイヤ径、および、トレッドのワンサイズアップのみ可

●ヘルメット

- ・FIA公認（8856-2000規格）の自動車用フルフェイス型、および、自動車用ジェット型のみ着用が可・有効期限は、製造年より5年

●服装

- ・FIA公認（8856-2000規格）のレーシングスーツ、グローブ、シューズ、ソックスのみ着用が可・各有効期限は、製造年より5年
- ・シングルレイヤーのレーシングスーツが可。ダブルレイヤー以上のスーツを強く推奨
- ・耐火性が保証されない作業用スーツや俗に走行会用スーツとして販売されているものは着用不可

●バッテリー

- ・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全に隔離してください

●燃料タンク

- ・AE86 純正タンク・純正位置、または、安全燃料タンクへの変更が可・純正タンク使用の場合は、いかなる加工も不可
- ・安全燃料タンクへの変更の場合、装着位置を規制しません。ただし、確実に隔壁遮断してください

●排気システム

- ・エキゾースト、および、マフラーの形状、および、素材の変更が可

●吸気システム

- ・吸気システムの変更が可・制御システムの変更が可

●排気音量

- ・筑波サーキットコース2000の基準に適合することが必要です

●消火器

- ・1kg以上の容量を持つ消火器の設置強く推奨。3kg以上の容量を強く希望します
- ・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消火できる、または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることが必要です
- ・その取付けは、横転時においても離脱しないようにしてください

●その他

- ・内張りの剥離が可・座席数は一座が可
- ・内容量1リットル以上のオイルキャッチタンクの装着が義務。その際、内容量を確認できるものが望ましい
- ・キルスイッチの装着を推奨します。その取り付け位置は、車輛全部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内とします
車内に設置する際は、運転者が操作可能であることが必要です
- ・前後に牽引フックの装着が義務。その際、オリジナル工具の使用が可
- ・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、またはm一辺40cm以上の四角形の白地に、黒色の太文字で算数字の数字で表記してください
ゼッケン数字の書体は規制しません。が、管制塔より可読性があることが必要です
- ・フロントウインドウを除くウインドウのアクリル化が可
- ・ロールケージ、シートベルト、レーシングスーツ、グローブ、シューズは、現状を過渡的な状態とし、近い将来に規定に則った変更を行うことを前提に、昨年まで使用していたものを可とします。ただし、新たに製作や購入を行う場合は、規定通りとします

●名称：Z Expert Trophy(Z33以降のNISSAN FAIRLADY Z全車輛)

◎目的

フェアレディZオーナーによるサーキット走行をレース形式で行い、クラブマンシップを大切にしたいゲームフィールドとして設定します。

◎対象車輛

・ Z33以降のNISSAN FAIRLADY Z全車輛

◎クラス設定

・ 筑波サーキットの走行タイムとエンジン型式を基準に、走行タイムによってクラスを構成。

初参加者は、初戦においては自己判断によりクラスを選択。次回以降は、初戦のタイムに沿ってクラスを選択し、シリーズ中であってもタイム規定に沿ってクラスを移動します。

● Super Z

位置づけ : Zカーの最高峰クラス

対称 : チューンドカー／プロショップデモカー、プロドライバーが運転する車輛

タイム : 筑波サーキットコース2000において、1分5秒未満の車輛

エンジン型式 : VQ38HR/VQ37VHR Ver NISMO/過給器装着車/全形式のチューニングカー

● Gr.-A

位置づけ : ラジアルタイヤ装着車の最高クラス

対称 : チューンドカー／プロショップデモカー

タイム : 筑波サーキットコース2000において、1分5秒50未満の車輛

エンジン型式 : VQ38HR/VQ37VHR/VQ37VHR Ver NISMO /タイムによって全形式エンジン、および、その過給器付きも可

● Gr.-B

位置づけ : ラジアルタイヤ装着車の最高クラス

対称 : ストリートチューンの車輛

タイム : 筑波サーキットコース2000において、1分5秒51から1分7秒50の車輛

エンジン型式 : VQ35HR/VQ37VHR/タイムによって全形式エンジン、および、の過給器付きも可

● Gr.-C

位置づけ : Zカーのベースクラス

対称 : ストリートチューンの車輛

タイム : 筑波サーキットコース2000において、1分7秒50を超える車輛

エンジン型式 : VQ35DE/VQ35HR/タイムによって全形式エンジン

◎賞典

- ・各クラス混走。ただし、別賞典とし、各クラス3位まで楯を授与します。
- ・戦績ポイントは、10位まで設定します。
- ・全戦参加者には皆勤賞としてポイントを増加します。
- ・クラス移動に際し、取得ポイントの移行が可能。
- ・ただし、最終戦における上位クラスへの移行の場合、ポイントの持ち越しはできません。
- ・最終戦の一戦前のレースにおいて基準タイムをクリアした場合、特例として最終戦のみクラス移行の義務を免除します。

◎車輛規定

■エンジン

- ・当クラス該当車輛の生産車のエンジンブロックを使用することが必要。
- ・型式を問わず、生産車の最大排気量までのボアアップが可能。ただし、SuperZクラスはのボアアップは規制しません。
- ・バルブ開閉タイミングの変更、および、点火タイミングの変更が可。
- ・バルブ、バルブガイド、リングの素材変更が可。ただし、生産車の排気量に準じた形状とし、サイズを変更することはできません。
- ・クランクシャフト、ピストン、コンロッド、カムシャフトの交換が可。
- ・Gr.Cを除き、あらゆる過給器、および、あらゆる加給/加速システムの後付けが可。

■吸排気システム

- ・インテークマニホールド、エキゾーストマニホールドの数量、形状、および、素材の変更が可。
- ・制御システムの変更が可。
- ・スロットルは制御システム、および、ブランドを規定しません。
- ・エキゾースト、マフラーの形状、型式、および、素材の変更が可。ただし、後方排気型とします。
- ・Super Zクラス以外は、キャタライザーの装着を義務付けます。

■オイルキャッチタンク

- ・内容量1L以上のエンジンオイルキャッチタンクと500cc以上のデフオイルキャッチタンクの装着を義務付けます。その際、内容量を確認できるものが望ましい。

■燃料タンク

- ・タンク外壁に亀裂が無く、内部ウレタンが消耗していない純正タンクを使用してください。
- ・安全タンクへの変更は不可。
- ・外部コレクタータンクの設置は不可。

■キルスイッチ

- ・装着を推奨します。
- ・取り付け位置は、車輛前部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内とします。車内に設置する際は、運転者が操作可能であることが必要です。

■排気音量

- ・各サーキット基準に適合することが必要です。

■トランスミッション

- ・SuperZクラスを除き各車輛形式に設定された日産純正部品を各車輛型式ごとに使用してください。
- ・SuperZクラスを除き各ミッションの作動方式の変更は不可。また、シフト段数の変更は不可。

■クラッチ

- ・純正部品以外の使用可。

■デファレンシャル

- ・リミテスリップデファレンシャルの装着が可。ファイナルギア比は規制しません。
- ・ピニオン数の変更が可。
- ・トラクションブラケットの装着が可
- ・デフオイルクーラーの装着が可。

■バッテリー

- ・純正装着位置の変更は可。
- ・電圧の変更は不可。

■ボディサイズ

- ・SuperZクラスを除きボディシルエットの変更は不可。ただし、フロント、および、リアスポイラーやカナードによるシルエット変更は認めます。その数値は、別項目を参照すること。Superzクラスは左右500mmまでの拡大が可。

■ボディの変更

- ・前席に2座を確保してください。
- ・内装剥離が可。
- ・ボンネット、リアゲート、フェンダー、ルーフ、ドアの素材変更が可。ただし、純正品以外のボンネット、および、リアゲートに変更した場合、ピンにより固定することが必要です。さらに、変形、脱落がないように装着してください。
- ・SuperZクラスを除き各上記における形状変更は不可。
- ・SuperZクラスは、ホイールベースの伸長を26mmまで認めます。
- ・ボンネットの開口は可。ただし、ボンネットシルエットより50mm以上飛び出すことは不可。また、ボディとの間の隙間は不可。
- ・バンパー素材、および、形状の変更が可。
- ・前後バルクヘッドの剥奪は不可。
- ・アンダーカバーの装着、および、そのフラット化が可。
- ・すべてのウインドウの素材変更は不可。

■空力付加物

- ・ボンネットへの空力付加物の装着は不可。
- ・ボディ後方に自立型のウイングの装着が可。ただし、ルーフ、および、ボディサイズより左右に拡大することは不可。ただし、Superzクラスは左右500mmまでの拡大が可。
- ・リアゲートへの空力付加物の装着が可。ただし突起高は50mm以内とし形状は問いません。
- ・フロントスポイラーの装着が可。
- ・フロントカナードの装着が可。
- ・サイドスカートが可。
- ・突起部に丸みを設定したフロントカナードの装着が可。
- ・セパレートエッジに装着が可。
- ・リアディフューザーの装着が可。ただし、耐熱処理を行うことが必要です。
- ・空力付加物を設定した場合、以下のサイズを超えてはなりません。フロントオーバーハングを1000mm以下。リアオーバーハングを1000mm以下とします。フロントカナード、セパレートエッジ装着による突起を20mm以下とします。
- ・アンダーフロア全体の最低地上高を50mmとします。ただし、スポイラーなど空力付加物は、地上高に含みません。

■サスペンション

- ・サスペンション、および、スプリングの構造、および、製品の変更は可。
- ・伸縮レート比は規制しません。
- ・サスペンションメンバーの加工は不可。ただし、メンバースペーサーの装着は可。
- ・フロントアッパーリンク、リアキャンバーアーム、リアトラクションロッド以外の部品は、SuperZクラスを除き、各日産、またはNISMO部品を無加工で使用してください。ただし、強化ブッシュ、ピローボールの純正品以外への変更は認めます。

■スタビライザー

- ・設置が可。その設置地式、および、形状を規制しません。ただし、最低地上高以内であることが必要です。

■タワーバー

- ・装着が可。形状、および、素材の規制はしません。

■ブレーキ

- ・カーボンファイバー製ブレーキローターの使用は不可。
- ・SuperZクラスを除き各ブレーキローター径は、φ390mm以下とします。

■ホイール

- ・ホイールサイズは、前後共にφ19インチ以下とします。
- ・一般的に市販されているJWL、または、VIAの刻印がされたものを使用してください。
- ・SuperZクラスを除き、センターロック式使用やそれへの加工は不可。
- ・ホイールのセンターより上部はホイールアーチよりはみ出してはならない。

■タイヤ

- ・SuperZクラスを除き各一般的に市販されているラジアルタイヤを使用してください。
ただし、ラジアル構造であっても、Sタイヤ、および、スリックタイヤ、レインタイヤの使用は不可。
- ・SuperZクラスは、あらゆるSタイヤの装着が可。
- ・タイヤサイズは問いません。ただし、車体からはみ出してはなりません。
- ・SuperZクラスを除き各スリップライン（1.6mm）以下の溝となったタイヤの使用は不可。
- ・ウォーマーの使用、人的作用を含むクールダウン、溶剤塗布は禁止とします。
- ・一切の加工が不可。
- ・使用可能本数は、予選／決勝を通じて1セット（4本）です。ただし、パンクなどやむを得ない場合は、主催者の許可を得た後に追加使用が可。
SuperZクラスは、ウエット路面の場合、1セットのみ交換が可能。

■ロールケージ

- ・6点式以上のロールケージ装着を強く推奨。サイドバーの装着を強く推奨。
- ・アルミ製のロールケージ、および、サイドバーは不可。
- ・ロールケージを新作する場合の構造材は、
外径40mm／肉厚2.0mm以上のサイズで冷間引き抜き継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください。
- ・クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA規定の外径40mm／肉厚2.0mmを推奨。
ただし、ラリーアート規定の外径38.1mm、肉厚21.6mm鋼材の使用が可。

■ロールケージを新作する場合の装着と検査

- ・厚さ3mm以上、面積120cm²の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材／サイズによる鋼材とで、ボディ床部を上下から挟み込むように設置。
- ・設置のボルトは、8mm以上の4Tボルトとし、4本以上のボルトによって固定。
- ・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着。
- ・SuperZクラスを除き、前後バルクヘッドの貫通は不可。
- ・鋼材の検査のために、φ5mmの穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲ってください。

■サイドバー

- ・鋼材は、ロールケージと同様の鋼材を用いることが必要です。アルミ素材は不可。
- ・サイズは、メインケージが外径40mm／肉厚2.0mm以上の場合、外径38mm／肉厚2.5mm以上とします。
- ・ドア素材をオリジナルの鋼板から軽量化素材、または、低強度素材に変更した場合、サイドバーの装着が義務。

■灯火類

- ・ストップランプ、テールモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要です。
- ・灯火類のLED化は可。

■シートベルト

- ・4点式以上のシートベルトをFIAの規定に則って設置。
- ・FIA公認（8856-2000規格）とします。
- ・有効期限は、製造年より5年とします。

■ヘルメット

- ・FIA公認（8856-2000規格）の自動車専用フルフェイス型、および、ジェット型とします。
- ・有効期限は、製造年より5年です。
- ・Hansシステムの使用を極めて強く求めます。

■服装

- ・FIA公認（8856-2000規格）の2レイヤー以上のレーシングスーツ、グローブ、シューズ、ソックス、フェイスマスクを使用してください。
ただし、2011年度中は移行期間とし、耐火性の高い素材を用いた用品の使用を認めます。
- ・各有効期限は、製造年より5年とします。

■消火器

- ・1kg以上の容量を持つ消火器の設置を強く推奨。3kg以上の容量を推奨する。
- ・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消化できること、または、運転者が消火器を取り外し消火活動ができること。
- ・その取付けは、横転時においても離脱しないことが必要です。

■ゼッケン

- ・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、または、一辺40cm以上の四角形の白地に黒色の太文字を用い、算数字の数字で表記してください。
- ・ゼッケン数字の書体は規制しません。が、管制塔より可読性があることが必要です。
- ・第3戦以降、主催者より当該クラス専用のゼッケンを販売します。

Porsche 9 CUP-1 3600cc以下の空冷ポルシェにおいて、筑波1分6秒、または、茂木2分16秒を切った方（ベストタイム）のクラス

Porsche 9 CUP-2 3600cc以下の空冷ポルシェにおいて、筑波1分6秒、または、茂木2分16秒を切っていない方（ベストタイム）のクラス

●排気量：	3600cc以下 SC、SCSの3600cc化はエンジン形式の変更が可
●変更/改造：	チューニング車輛によるコンペティション・ゲームを行うクラス 吸排気系 = イグニッション形式の変更が可。メカニカルポンプのキャブ化が可。6連スロットが可 過給器の変更、および、後付けが可 足まわり = 変更が可。コイルオーバーなどの機構変更が可。ピロウボウルの追加装着が可 エンジン = 形式変更が可。カムリフト変更が可 ミッション = 素材変更が可。段数変更は不可 クラッチ = 容量の変更が可 ブレーキ = 容量、サイズの変更が可。ブレーキホースの強化が可。ツインマスター化など、システム変更が可 ボディ = フロントウィンドウを除くアクリル化など素材変更が可。軽量化が可、ただし、屋根の素材以外のみ可。その場合、強度を保つよう注意してください。ドア素材を変更する場合は、十分な強度と取り付けによるサイドバーの装着が義務。バルクヘッドの穴開き状態は不可 外寸変更が可、ただし、左右合計最大200mm以内とします ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る 座席数 = 1座以上 内装 = 剥離可、ただし、内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください。ロールケージの取り付けを強く推奨 制御システム = システム変更が可
●重量：	最低重量 = ストック車輛重量に対し300Kgの軽量化が可
●タイヤ：	スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可 メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください
●マフラー：	エキゾーストマニホールド、および、エキゾーストパイプの変更が可。マフラー変更が可

●その他：

- ・前後牽引フックの装着が義務（牽引フックはオリジナル工具の使用が可）
- ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨
- ・安全タンクの設置を極めて強く推奨
- ・消火器の設置を極めて強く推奨
- ・キルスイッチの装着を極めて強く推奨

●マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下、0.5m地点で115db以下

●賞典：3位までをトロフィにより表賞します

●移動：

予選、決勝を通じて規定タイムをクリアした場合、車輛の仕様に関係なく次回ゲームより移動が義務

・9CUP-2→9CUP-1 筑波：1分6秒、茂木：2分16秒のどちらかを切った方（ベストラップ）は次回より9CUP-1への移動が義務

・9CUP-1→SuperCUP-2 筑波：1分4秒、茂木：2分13秒のどちらかを切った方（ベストラップ）は次回よりSuperCUP-2への移動が義務

いずれもドライコンディション時、筑波、または、茂木のベストラップを適用。路面温度、外気温は考慮しません

移動後は車輛が変更されない限り、クラスを戻すことができません。また移動についてはベストラップ以外に車輛規定、着順などを適用する場合があります

●移動ポイント/前走行合計ポイントの80%を新クラスに持ち越すことが可能。移動前のリザルトはそのまま残ります

●最終戦におけるクラス移動、変更は行えません（規定タイムをクリアしても移動できません）

●最終戦におけるクラス移動、変更を行う場合はポイントの持ち越しが一切行えません（移動前のポイントはそのまま残ります）

Porsche 9 CUP-S 996以降の水冷ポルシェにおいて、筑波1分4秒、または、茂木2分13秒を切っていない方（ベストタイム）のクラス

●対象	996以降の水冷車両
●変更/改造	チューニング車両によるコンペティション・ゲームを行なうクラス 吸排気系 = イグニッション形式の変更が可。メカニカルポンプのキャブ化が可。6連スロットが可 過給器の変更、および、後付けが可 足まわり = 変更が可。コイルオーバーなどの機構変更が可。ピロウボウルの追加装着が可 エンジン = 形式変更が可。カムリフト変更が可 ミッション = 素材変更が可。段数変更は不可 クラッチ = 容量の変更が可 ブレーキ = 容量、サイズの変更が可。ブレーキホースの強化が可。ツインマスター化など、システム変更が可 ボディ = フロントウィンドウを除くアクリル化など素材変更が可。軽量化が可、ただし、屋根の素材以外のみ可。その場合、強度を保つよう注意してください。ドア素材を変更する場合は、十分な強度と取り付けによるサイドバーの装着が義務。バルクヘッドの穴開き状態は不可 外寸変更が可、ただし、左右合計最大200mm以内とします ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る 座席数 = 1座以上 内装 = 剥離可、ただし、内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください。ロールケージの取り付けを強く推奨 制御システム = システム変更が可
●重量	最低重量 = ストック車両重量に対し300Kgの軽量化が可
●タイヤ	スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可 メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください
●マフラー	エキゾーストマニホールド、および、エキゾーストパイプの変更が可。マフラー変更が可

●その他

- ・前後牽引フックの装着が義務（牽引フックはオリジナル工具の使用が可）
- ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨
- ・安全タンクの設置を極めて強く推奨
- ・消火器の設置を極めて強く推奨
- ・キルスイッチの装着を極めて強く推奨

●マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下、0.5m地点で115db以下

●賞典：3位までをトロフィにより表賞します

●移動

予選、決勝を通じて規定タイムをクリアした場合、車両の仕様に関係なく次回ゲームより移動が義務

・9CUP-S→SuperCUP-2 筑波：1分4秒、茂木：2分13秒のどちらかを切った方（ベストラップ）は次回よりSuperCUP-2への移動が義務

いずれもドライコンディション時、筑波、または、茂木のベストラップを適用。路面温度、外気温は考慮しません

移動後は車両が変更されない限り、クラスを戻すことができません。また移動についてはベストラップ以外に車両規定、着順などを適用する場合があります

●移動ポイント/前走行合計ポイントの80%を新クラスに持ち越すことが可能。移動前のリザルトはそのまま残ります

●最終戦におけるクラス移動、変更は行えません（規定タイムをクリアしても移動できません）

●最終戦におけるクラス移動、変更を行う場合はポイントの持ち越しが一切行えません（移動前のポイントはそのまま残ります）

Porsche NR CUP 筑波1分7秒、または、茂木2分21秒を切っていない方のクラス

●対象	・ポルシェ全車種
●賞典	・他のクラスと混走。別賞典。5位までをトロフィにて表彰
●エンジン	・エンジンユニットは、ノーマル以外への換装が可・ボア/ストロークの変更が可
	・バルブ数の変更、または、ヘッドの変更、および、ヘッドの加工は不可 ・バルブ開閉タイミングの変更が可・バルブ、バルブガイド、リングの素材変更は不可・点火タイミングの変更が可 ・あらゆる過給器の後付けは不可・タイミングベルトの形式、および、素材変更は不可
●トランスミッション	・ミッションの作動方式の変更は不可・シフト段数の変更は不可・ギア比の変更が可
●デファレンシャル	・リミテッドスリップデファレンシャルの装着が可・ファイナルギア比は規制しません
●ボディ	・ボディ幅の変更は可。ただし、左右合計2cm以内・ボンネット、トランクフード、フェンダーの素材変更が可。ルーフの素材変更は不可 変更した場合、変形、脱落がないように装着。また、ボンネット、トランクフードの形状変更は不可・ドアの素材変更は不可 ・ボンネット部への空力付加物の装着が可。ただし、ルーフおよび、バンパー左右面より拡大することは不可 ・ボンネットの開口は不可。ボディとの間の隙間は不可・トランクフードへの空力付加物の装着は不可 ・フロントスポイラーの装着が可。ただし、最低地上高が5cm以上必要です。また、前方への張り出しは、2cm以内。サイドスカートは装着は不可 ・フロントスポイラーに空力付加物の装着が可・リアディフューザーの装着は不可・バンパー素材の変更が可。ただし、形状の変更は不可 ・前後バルクヘッドの剥奪は不可・全ウインドウの形状、および、素材変更は不可 ・前後の牽引フックの装着が義務。その際、オリジナル工具の使用が可
●内装	・内張りの剥離が可。・座席数は2座以上。・座席素材と形状の変更が可
●ロールケージ	・4点式以上のロールケージ装着を強く推奨する。6点式ロールケージ、および、サイドバーの装着が望ましい ・ロールケージの構造材は、外径35mm、肉厚2.5mm以上の鉄製、または、ステンレス製。肉厚検査のために、直径5mmの穴を開け、その周辺を黄色い枠で囲んでください・運転席・助手席の緩衝材の装着が義務・バルクヘッドの貫通設置は不可
●サスペンション	・サスペンション形式の変更は不可・構造材の変更は不可。ただし、車高調整式アブソーバーへの換装は可・伸縮レート比は規制しません ・スタビライザーの設置が可。その場合、方式、および、形状を規制しません。ただし、最低地上高は、フロントスポイラーと同様 ・タワーバーの装着が可。形状、および、素材の規制はしません
●灯火類	・ストップランプ、テールモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要
●タイヤ	・タイヤメーカーを規制しません・市販ラジアルタイヤの装着のみ可 ・タイヤ径は18インチまで可。トレッドはフェンダーに干渉しないサイズまで拡大が可
●シートベルト	・4点式以上のシートベルトをFIAの規定に則って設置してください・FIA公認（8856-2000規格）・有効期限は、製造年より5年以内
●ヘルメット	・FIA公認（8856-2000規格）のフルフェイス型、および、ジェット型・有効期限は、製造年より5年以内
●服装	・FIA公認（8856-2000規格）のレーシングスーツ、グローブ、シューズ、ソックスのみ着用が可 ・各有効期限は、製造年より5年以内・シングルレイヤーのレーシングスーツは不可
●バッテリー	・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全隔離が義務
●燃料タンク	・純正タンクを純正位置にて使用のみ可。いかなる加工も不可
●排気システム	・エキゾースト、および、マフラーの形状、および、素材の変更が可
●吸気システム	・吸気システムの変更は不可・制御システムの変更不可
●排気音量	・筑波/マフラー後方の直線距離で、レッドゾーンマイナス1000rpmで計測し、3m地点で100db以下、2m地点で110db以下、0.5m地点で115db以下
●消火器	・1kg以上の容量を持つ消火器の設置を強く推奨。3kg以上の容量を望む ・その際、運転者が作動を可能とするボタンによって、エンジンルームを消火できること。または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることを強く推奨・横転時においても離脱しないように取り付けてください
●その他	・内容量1リットル以上のオイルキャッチタンクの装着が義務。その際、内容量を確認できるようにしてください ・キルスイッチの装着を強く推奨。その取り付け位置は、車輛全部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内とします 車内に設置する際は、運転者が操作可能であることが必要です ・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、または、一辺50cm以上の四角形の地に、黒色の太文字で算数字の数字で表記 ゼッケン数字の書体は規制しません。ただし、管制塔より可読性があることが必要です

●移動：予選、決勝を通じて規定タイムをクリアした場合、車輛の仕様に関係なく次回ゲームより移動が義務

筑波：1分7秒、茂木：2分21秒のどちらかを切った方（ベストラップ）は次回より該当クラスへの移動が義務

●該当クラス例

3500cc以下/89年以前のポルシェ→930CUP

3600cc以下/空冷ポルシェ→9CUP-2

996以降の水冷ポルシェ→9CUP-S

いずれもドライコンディション時、筑波、または、茂木のベストラップを適用。路面温度、外気温は考慮しません

移動後は車輛が変更されない限り、クラスを戻すことができません。また移動についてはベストラップ以外に車輛規定、着順などを適用する場合があります

●移動ポイント/前走行合計ポイントの80%を新クラスに持ち越すことが可能。移動前のリザルトはそのまま残ります

●最終戦におけるクラス移動、変更は行えません（規定タイムをクリアしても移動できません）

●最終戦におけるクラス移動、変更を行う場合はポイントの持ち越しが一切行えません（移動前のポイントはそのまま残ります）

基準タイムをクリアしたボルシェ

Porsche Super CUP-Class 1 筑波1分3秒、または、茂木2分10秒を切った方（ベストタイム）のクラス。Sタイヤ最高峰クラス

Porsche Super CUP-Class 2 筑波1分3秒、または、茂木2分10秒を切っていない方（ベストタイム）のクラス

●排気量：	3800cc以下 ナロー系、SC、SCSの3800cc化はエンジン形式の変更が可
●変更/改造：	チューニング車輛によるコンペティション・ゲームを行なうクラス 吸排気系 = イグニッション形式の変更が可。メカニカルポンプのキャブ化が可。6連スロットが可 過給器の変更、および、後付けが可 足まわり = 変更が可。コイルオーバーなどの機構変更が可。ピロウボウルの追加装着が可 エンジン = 形式変更が可。カムリフト変更が可 ミッション = 素材変更が可。段数変更は不可 クラッチ = 容量の変更が可 ブレーキ = 容量、サイズの変更が可。ブレーキホースの強化が可。ツインマスター化など、システム変更が可 ボディ = フロントウィンドウを含むアクリル化など素材変更が可。ただし、強度確保と破損時の拡散を防止処置が義務。軽量化が可 ドア素材を変更する場合は、十分な強度と取り付けによるサイドバーの装着が義務。屋根素材を変更する場合は、強度確保が義務 が義務であり、構造強度の保持部分に手を加えることは不可。バルクヘッドの穴開き状態は不可 外寸変更が可、ただし、左右合計最大250mm以内とします ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る 座席数 = 1座以上 内装 = 剥離可、ただし、内装を剥離した場合、人体への障害とならないようにしてください。ロールケージの取り付けを強く推奨 制御システム = システム変更が可
●重量：	最低重量 = スtock車輛重量に対し350Kgの軽量化が可
●タイヤ：	スリックタイヤ、カットスリックタイヤは不可 メーカー、サイズの規定はしません。ただし、ボディからはみださないようにしてください
●マフラー：	エキゾーストマニホールド、および、エキゾーストパイプの変更が可。マフラー変更が可

●その他：

- ・前後牽引フックの装着が義務（牽引フックはオリジナル工具の使用が可）
- ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨
- ・安全タンクの設置を極めて強く推奨
- ・消火器の設置を極めて強く推奨
- ・キルスイッチの装着を極めて強く推奨

●マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下、0.5m地点で115db以下

●賞典：3位までをトロフィにより表彰します

●移動：予選、決勝を通じて規定タイムをクリアした場合、車輛の仕様に関係なく次回ゲームより移動が義務

SuperCUP-Class 2→SuperCUP-Class 1 筑波：1分3秒、茂木：2分10秒のどちらかを切った方（ベストラップ）は次回よりPorscheSuperCUP-Class 1への移動が義務

いずれもドライコンディション時、筑波、または、茂木のベストラップを適用。路面温度、外気温は考慮しません

移動後は車輛が変更されない限り、クラスを戻すことができません。また移動についてはベストラップ以外に車輛規定、着順などを適用する場合があります

●移動ポイント/前走行合計ポイントの80%を新クラスに持ち越すことが可能。移動前のリザルトはそのまま残ります

●最終戦におけるクラス移動、変更は行えません（規定タイムをクリアしても移動できません）

●最終戦におけるクラス移動、変更を行う場合はポイントの持ち越しが一切行えません（移動前のポイントはそのまま残ります）

